

農林水産省
「食品ロス削減のための消費者啓発」に
東京工芸大学が参加

東京工芸大学（学長：吉野弘章、所在地：神奈川県厚木市 以下、本学）は、東京工芸大学生生活協同組合（理事長：森山剛）を通じ、2021年11月から、農林水産省が行っている「食品ロス削減のための消費者啓発」に参加しています。現在本学では、余った食材を低価格で販売し、食品ロスの削減に取り組んでいます。

本学は、この取り組みの一貫として、厚木キャンパス食堂営業終了後に当日の余った食材をお弁当にし、学生に、食品ロス削減の意図が伝わるよう、そのお弁当を「FOODレス救弁当」と名付け15時から低価格（350円ほど）での販売を開始しました。この取り組みでは、当初食堂の廃棄ロス率を、取り組み開始前2021年4月～10月の1日平均3%から1日平均1.5%に削減する事を目標としましたところ、11月期には、2.0%まで削減することができました。

【目的】

1. 食堂営業終了後の廃棄食材を削減する
2. 学生及び教職員に、余った食材を利用したお弁当「FOODレス救弁当」を購入することが、社会課題の解決につながるという意識を持ってもらう
3. 余った食材を利用し、夕方に授業やゼミ、課外活動がある学生の食生活を支援する

2023年10月5日、本学は創立100周年を迎えます。今後も本学は、これまでの100年の歩みに新たなページを加えていけるよう、様々な取り組みを行ってまいります。

■参考

学内取材動画URL：<https://youtu.be/joBRTbaSz64>

**■啓発資料を活用した食品ロス削減に取り組む事業者、自治体一覧（2021年10月15日現在）**

URL: <https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/attach/pdf/211020-6.pdf>

本リリースに関するお問い合わせ

学校法人東京工芸大学 総務・企画課 広報担当 TEL:03-5371-2741 MAIL:university.pr@office.t-kougei.ac.jp